

(学)九州総合学院 九州工科自動車専門学校
2024年度 授業シラバス

授業科目名	ジーゼルエンジン整備		科目コード	1232	
開講クラス	自動車整備科	コース		学年	2年
担当教員	塩月 大		実務経験教員 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 2004年4月～2015年9月 自動車整備士 2015年4月～2017年3月 県立工業高校(実習教師) 2017年4月から本校職員(現在に至る)				
開講時期	前期・後期 <input checked="" type="radio"/> 通年 ・特別講義 ・その他		授業コマ数	25	時間
	<input checked="" type="radio"/> 必須 ・ 選択 ・ 選択必須		単位数		単位
使用テキスト1	書名	二級ジーゼル自動車 エンジン編			
	著者	日本自動車整備振興会連合会			
	出版社	日本自動車整備振興会連合会			
使用テキスト2	書名	ジーゼル・エンジン構造			
	著者	全国自動車大学校 ・ 整備専門学校協会			
	出版社	株式会社 The エージェント			
参考図書	三級自動車ジーゼル・エンジン / 二級自動車シャシ / 電装品構造				
授業形態	<input checked="" type="radio"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ その他 ()				
<p>〈 授業の目的・目標 〉 現在の整備作業の傾向に合わせ、点検・検査・測定・調整技術はもとより、正しい診断技術を習得し二級整備士資格を取得する。</p>					
<p>〈 授業の概要・授業方針 〉 道路運送車両法の規定に基づく自動車整備士の養成施設において、三級ジーゼル・エンジン自動車整備士を養成するための教科書である。また、定期点検整備や基本整備内容はもとより、近年技術進歩の目覚ましい燃料装置を内容に取り入れ、各装置ごとに構造、機能、整備に分けて説明し、多くの図を挿入する事によって、理解しやすくなるよう考慮してあります。</p>					
<p>〈 成績基準・評価基準 〉 定期試験(85%)、提出物(5%)、小テスト(5%)、授業態度(5%) (主に減点)より評価を行う (A評価 85点以上) (B評価 70点以上85点未満) (C評価 60点以上70点未満) (D評価 60点未満)</p>					
<p>〈 使用問題集・注意事項 〉 自動車整備士2級ジーゼル 練習問題集 自動車整備士2級ジーゼル 問題と解説</p>					
<p>〈 授業以外に必要な学修内容、関連科目、他 〉 三級自動車シャシ / 二級自動車シャシ / 三級自動車ジーゼル・エンジン 計算問題を解くノウハウ(力数) / 電装品構造</p>					

授業科目名			ジーゼルエンジン整備	
回	月	週	授 業 内 容	備 考
1	4	3	ジーゼルエンジン（燃焼方式）	
2		4	ジーゼルエンジン（バルブタイミング）	
3		5	ジーゼルエンジン（燃焼過程、排出ガス）	
4	5	6	エンジン本体（構造、機能）	
5		7	エンジン本体（バルブ機構、バルブ機構）	
6		8	潤滑装置（構造、機能、整備 オイルクーラ）	
7		9	冷却装置（構造、機能 ファンクラッチ、電動ファン）	
8	6	10	冷却装置（整備 ファンクラッチ、電動ファン）	
9		11	燃料装置（構造、機能、整備 コモンレール式高圧燃料噴射装置）	
10		12	燃料装置（整備 サプライポンプ、コモンレール、インジェクタ、セン	
11		13	燃料装置（構造、機能、整備 ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴	
12	7	14	燃料装置（整備 ユニット・インジェクタ）	
13		15	吸排気装置（構造、機能 ターボ・チャージャ、インタ・クーラ）	
14		16	吸排気装置（構造、機能 排ガス後処理装置）	
15		17	2学年前期試験	
16	9	22	電気装置（半導体、、スイッチング増幅回路、発信回路、論理回路	
17		23	電気装置（バッテリー）	
18		24	電気装置（指導装置、充電装置）	
19	10	25	電気装置（予熱装置）	
20		26	燃料及び潤滑剤	
21		28	エンジンの点検整備（基本点検、自己診断機能を活用した点検）	
22	11	29	故障原因探求	
23	12	30	2級対策	
24		32	2級対策	
25	2	34	2学年後期試験	
26				
27				
28				
29				
30				